

第1191回 高知市教育委員会 10月定例会 議事録

1 開催日 平成29年10月30日（月）

2 教育長開会宣言

3 議事

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 市教委第51号 オーテピア高知図書館フロア業務プロポーザル選定委員会委員の委嘱等について

報告 ○高知みらい科学館の概要について

4 出席者

(1) 教育委員会	1 番教育長	横 田 寿 生
	2 番委員	谷 智 子
	3 番委員	西 森 やよい
	4 番委員	野 並 誠 二
	5 番委員	森 田 美 佐

(2) 事務局	教育次長	弘 瀬 健一郎
	教育次長	高 岡 幸 史
	教育政策課長	和 田 典 子
	教育政策課教育企画監	和 田 広 信
	市民図書館長（参事）	貞 廣 岳 士
	市民図書館新図書館建設室長	小 新 貴 士
	教育政策課長補佐	吉 本 忠 邦
	教育政策課総務担当係長	横 田 由 紀 子
	教育政策課主任	北 岡 美 樹

1 平成29年10月30日（月） 午後3時40分～午後4時15分
（たかじょう5階北会議室）

2 議事内容

開会 午後3時40分

横田教育長

ただいまから、第1191回高知市教育委員会10月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は森田委員さん、お願いいたします。

森田委員

はい。

横田教育長

それでは、議案審査に移ります。

日程第2 市教委第51号「オーテピア高知図書館フロア業務プロポーザル選定委員会委員の委嘱等について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

市民図書館長

それでは、オーテピア高知図書館フロア業務に関するプロポーザル選定委員の委嘱等について、説明させていただきます。お手元の資料の2ページ、3ページのほか、別途に参考資料として配布させていただいた、プロポーザル実施の基本方針にて説明させていただきます。

基本方針をご覧ください。1 業務の概要の(2)に事業の目的を記載しております。平成30年7月に開館するオーテピア高知図書館は、社会生活上や職務上で発生する課題を解決するための支援の充実を重視しております。そこで、多数の人手を要する資料の出納・集配・整理などのフロア関連業務等の一部業務を図書館業務の実績を有する業者に委託することにより、サービスの質の向上を図りつつ、図書館の専門職である司書職員を課題解決支援サービスに集中させようとするものです。

1 業務の概要の(4)委託金額をご覧ください。プロポーザルに伴う事業費は県市折半とし、県に負担を求めます。2 プロポーザル方式の採用理由です。全国的にも有数の規模となるオーテピア高知図書館の資料整理や貸出等、これまでの一般的なサービスは保ちつつ、専門性の高い課題解決サービスを推進していくために、図書館運営の業務実績がある業者から広く提案をいただき、優れた提案を採用することでより効率的で利用者満足度の高い運営が実施できるものと考え、プロポーザル方式を採用いたしました。3 全体スケジュールをご覧ください。12月から来年1月にかけて各業者に提案書を作成していただきます。2月上旬に選定委員会を開催し、契約候補業者を決定します。その後2月中旬頃に業者と交渉、契約を行い、従業者の募集や研修などを経て、7月から書庫出納や配送などの業務を実施してまいりたいと考えています。

お手元の資料の3ページ目をお開きください。今回の案件は、プロポーザルによる業者選定を行う委員を新規に委嘱するものです。委員の人数は7名で、行政内において契約や図書館整備に関わっている職員や、オーテピアを構成する各館の館長のほか、外部委員として、新図書館基本構想検討委員会や高知県立図書館・高知市民図書館図書館協議会の委員であり、高知工科大学附属情報図書館長の篠森敬三さん、そして、図書館現場を熟知し、司書資格を有している南国市民図書館の武市佐和子さんを選定しています。任期は平成29年11月1日から平成30年2月28日までを設定してい

ます。7人のうち1人が女性で6人が男性ですので、女性委員の比率は低くなっています。今回の選定につきましては、オーテピア高知図書館に関連のある委員構成となっておりますので、やむを得ず目安の40%を下回っております。

横田教育長

この件に関しまして、質疑等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。特にございませんか。

西森委員

オーテピアですが、県市の合築で運営も関わると思いますが、プロポーザルはどこが行うのですか。県教委も一緒に行うのかと思っていましたが。

市民図書館長

地方自治法上の事務の委託で、図書館フロア業務については、高知市が受けております。高知市の責任下でこの選定委員会は高知市で設置しております。事務の委託を受けているとはいえ、県市共同で行っておりますので、県の職員に委員の委嘱をしております。

横田教育長

地方自治法に基づく事務の委託です。契約を9月議会に議案として提出し、認められましたので、議会後県との間で締結をし、それに基づいた業務を行っております。予算も一旦は高知市の予算で契約をしておいて、相応分を後で県からもらうという流れになります。

森田委員

このフロア業務委託は、ポスト返却処理、出納、貸出等の業務といったより現場に近い内容で、(委員の)1番、2番の方は偉い方で、6番の方は業務に熟知しておられるという説明でしたが、現場のことを知っておられる方がいらっしゃるのかなと思いました。

市民図書館長

私を含め、現場から上がってきたわけではないですが、県市合築の中で詳しくなっていくということがあります。また6番の武市佐和子さんについて申し上げますと、館長ではございますが、南国市は正職員が1人しかおりませんので、司書資格を持った現場職員で南国市民図書館で勤め上げられ、館長になられた方です。実際に業務をしておられますので、より近いと言えると思います。

西森委員

こういう業務にどういった業者が入っているのですか。中古の本屋をされていたり、物流の会社が興味があったりするのでしょうか。

市民図書館長

図書館の専門業者で言うと、最大大手の図書館関連の業務を行っている業者が1つあります。また、書店系で図書館委託に入っている業者や自動車委託系の業者、文房具メーカーとして全国的に委託を受けている会社等様々あります。一般競争入札なので、どういった業者が参加していただけるかは、まだ不透明なのですが。

横田教育長

ほかにご意見がないようですので、この件の質疑を終了し、採決に移ります。市教委第51号「オーテピア高知図書館フロア業務プロポーザル選定委員会委員の委嘱等について」は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員一同

—————【異議なし】—————

横田教育長

ご異議なしと認めます。よって、市教委第51号は原案のとおり決しました。

続きまして報告事項です。「高知みらい科学館の概要について」について事務局の説明をお願いします。

市民図書館新図書館建設室長

まずお手元にありますA3横の資料をご覧ください。1ページ目の左上に全体のゾーンが載っております。今回は高知みらい科学館事業全体の計画に係るものについてご説明をいたします。3つの柱の1つに理科教育振興事業、理科の授業系のものになります。理科好きの子どもを育てるというものです。

次に科学文化振興事業として、科学を楽しむ、文化を育てるものです。こちらは一般の利用者の方への生涯学習的なものになります。基本的機能につきましては、科学館として基本的に持つべき資料収集という機能になっております。まず、理科教育振興事業について説明いたしますが、一番大きいのは科学館理科学習になります。県内の小学4年生と中学1年生を対象とした理科の授業を展開するものになります。県内という表現をしておりますが、中でも高知市内におきましては、小・中・義務教育学校は毎年参加していただく、全校が参加できる環境を整えていくようにしております。これは、小学校中学校と生涯で2回科学館で授業をした経験を持ってもらうということを想定しております。学年の選定はプラネタリウム等もありますので、宇宙の学習や太陽、月のある課程を念頭に置いていますが、中学校に関しては受験対策もありますので、一番期間的に余裕のある中学1年生を設定しております。次に学校授業出前教室ですが、これは遠足や校外学習での授業を想定しております。他にも学校の授業の合間に来ていただき、遠足的な利用もできるようになっております。出前教室については、遠方になりますと、バスの行き帰りで結構時間がかかってしまいますので、県内の遠方についてはこちらから出向いていくことを予定しています。来ていただく方が設備がありますので充実した授業ができるのですが、できる限り実験機材を持ち込んでやっていきたいと考えております。

次に理科教育支援ですが、小学、中学と2回授業を行います。これだけでは理科の授業を賄えないので、科学館の使命として、教員の資質の向上を科学館を利用してやっていくため、教員の学習会の開催を考えています。また、教材の貸出、提供についても科学館ならではの教材を購入しますので、科学館だけに留めるのではなく、学校に貸し出して使用していただきたいと思っております。次に科学文化振興事業ですが、目玉としましては今まで高知だけになかったと言われるプラネタリウムを中心に置いています。またサイエンスショー、ミニ科学教室、展示、実演等を掲げています。特に展示、実演につきましては、何回来ても同じ展示ということで、リピーターには弱いところもあります。今回の科学館は身近な利用者の方に何回も来ていただきたいという思いがありますので、サイエンスショー、ミニ科学教室といった中身のメニューが1週間、1か月単位で変わっていくものを用意して楽しんでいただきたいと思っております。

2の科学イベントでご紹介したいのは、連携イベントの中にサイエンスカフェがあります。対象としては高校生程度を考えていますが、日本の中でも有名な研究者を高知にお呼びして、その方と20~30人の規模で面と向かっていろいろな対話ができる、最新の研究について触れることができるような機会を設けていきたいと考えています。

3番に科学コミュニケーション推進というものがあります。(1)にサイエンスクラブがありますが、ここに子ども科学教室を掲げています。これは現在潮江にあります子ども科学図書館で何十年にもわたって引き継がれてきた指導員の先生方の研究成果や実績を活用し、ここに引き続き教室の指導員として来ていただく想定をしております。

次に6ページをご覧ください。プラネタリウムの紹介になっております。開館当初はオリジナル番組として、プラネタリウムを知らない方々への紹介として、平成30年11月頃までとありますが、プラネタリウムの機械の解説や、40年ほど前には高知にもプラネタリウムがありましたので、歴史的な紹介、高知における天文の研究家の紹介、当日の星空の紹介、天文のニュース、来年の開館当時ですと、はやぶさ2が動いていると思っておりますので最新のトピックスも紹介します。右側にスケジュールを掲載しておりますが、月曜日はお休みで、火曜日から金曜日は学校の授業を中心に展開す

ることを考えています。理科学習の枠が大きく取られていると思いますが、お昼には高知の自然ということで、仁淀ブルー、室戸ジオパーク等、昼休みに寄っていただいて癒し系の画像と音楽で楽しんでいただきたいと思いますと考えています。プラネタリウム自体は有料を考えていますが、お昼の時間帯は無料となります。火曜日から金曜日の16時15分からはオリジナル番組となっております。金曜日は開館時間も少し延長となりまして、オリジナル番組を3回上映することになっています。土曜日にも7・8月については、開館時間を延長しまして、同じように夜19時15分から最後の上映になりますが、伸ばしていきたいと考えています。土日は授業もありませんので、昼間の時間も全てオリジナル番組で展開します。基本的には4か月前に番組を年3～4回更新しまして、星座の紹介を行い、解説については毎日のその日の天気に合わせて、流星群があればその紹介を行うといった、何かしら前に来た時とは違うという状況にしたいと考えています。先ほど高知の自然をご紹介しましたが、仁淀ブルー、室戸ジオパーク、観光地関係で高知城や桂浜、龍河洞、五台山から見た高知市等を空撮で撮影しておりますので、そういった画像も組み合わせご紹介したいと思っております。

次に7ページをご覧ください。常設展示について細かく紹介したのになります。展示コンセプトとしては、見て触れて感じて作って学び遊ぶといった体験型の展示となっております。解説やパネルを見るだけではなく、実際に触って動かしてみようということを重視した展示となっております。ゾーニングとしましては、宇宙・地球・科学体験ゾーンとしまして、22アイテム、高知の科学・ものづくりゾーンに9アイテム、高知の自然と生きものゾーンに15アイテム置いています。代表的なものとして、宇宙・地球・科学体験ゾーンにデジタル地球儀があります。これは球状の地球儀が透明のスクリーンのようなものになっておりまして、現在の地球の様子、雲の様子、気象の様子が映し出されることになっています。これは手で押さえて左右に動かすと、画面自体が回転するようになっておりまして、地球、世界全体の雲の様子や過去に起こった地震の震源、津波の伝わる様子なども、それぞれ切り替えることによって見ることができます。例えば台風なども順番に動いていく様子、合わせて世界の雲の様子がどう連動しているのかということも見るすることができます。下の力持ちになれるかな、の所では、てこや滑車を使って、実際に子どもが座って相手を回すことで持ち上げられるかといった大掛かりなものになっています。

高知の科学・ものづくりゾーンでは、からくり人形を置きまして、実演も土日にはやっていきたいと考えています。当初の期間展示としまして、「高知のものづくり、土佐の伝統工芸」を挙げることにしています。本県の伝統工芸品について、高知県で指定されているものがありますが、作り方や仕組みを科学的な視点で解説をしていきたいと考えています。その他、展示をするときはあまり細かな説明は付けずに体験していただくことにしております。ここで体験したことが、後に授業である時の経験はこういうことなのか、というつながるようなものにしていきたいと考えています。細かな解説について欲しい方はホームページ等に掲載し、スマートフォンをお持ちの方はその場で見ていくこともできますし、紙の冊子でも提供しようと考えております。

次に9ページをご覧ください。情報センターについてご説明します。図書コーナーというものが情報提供としてありまして、その下の質問コーナーもそれぞれ科学館の機能として関連書籍を図書館と連携した展示を展開していきたいと考えています。例えば、夏休みにおいては、自由研究をテーマにして、科学館では実践、図書館では参考書といった展開ができればと思っております。質問コーナーの方は、科学館ならではの質問については、図書館でも質問を受け付け、科学館でお答えします、と専門家へつないでいくこともやりたいと考えています。(2)で情報収集・発信という機能があります。これはこの科学館にとどまらず、他の博物館系の施設とも連携を図っていきたいと考えております。立地が中心市街地の真ん中で、人がたくさんおいでになる所になりますので、周辺の科学館、博物館系の施設も紹介してつなげていきたいと考えています。

市民図書館長

続きまして館長のプロフィールについてご説明いたします。本日、教育長の方から高橋信裕さんに委嘱を行いました。11月1日から館長として務めていただくこととなります。簡単ですが、ご経歴についてご紹介させていただきます。高橋信裕さんは現在、慶応大学、早稲田大学、法政大学、国学院大学等、たくさんの大学でご教鞭をとられています。ご専門は博物館学、地域おこし、文化行政、ミュージアムマネジメント等でございます。高橋信裕さんは高知県内の文化施設である高知県立歴史民俗資料館や坂本龍馬記念館、横山隆一記念まんが館、龍馬の生まれたまち記念館等の開館にも携わっていただいて、ご尽力をくださっている方です。高知県宿毛市出身でございます。説明は以上でございます。

横田教育長

この件につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

谷委員

この科学館の中で、理科教育振興事業ですが、私たちも理科好きの子どもたちを育てるということで力を入れてやってきましたが、なかなかすぐには育たない。この科学館ができることによって、そのような所が発展していくとすごく良いなと思います。この学習の計画とか期間はどのように決めているのですか。教員の意見も入れてとか、どのようなメンバーでどのように決めているのか教えてください。

市民図書館新図書館建設室長

主体になっているのは、科学館建設室におります小中学校の指導主事の先生で3名配置しておりますが、高知市内、市外で理科の授業を経験された方です。また、先進的なところとしまして、京都の青少年センターが非常にこういった理科学習の授業をやっており、こちらに2名の指導主事が3か月間、1名が1か月間研修に行っており、ノウハウを吸収してきています。それをベースとしまして、現在この先生方が中心となりまして、学習のカリキュラムを組んでいます。

谷委員

O Bの先生とか理科に関わる方はいらっしゃると思うのですが、そういった先生方の声も取り入れながらやっているのですか。

市民図書館新図書館建設室長

潮江の子ども科学図書館にO Bの先生方が多数お揃いですので、過去の実験のノウハウだけでなく、今回のカリキュラムのアドバイスをいただくといった形で情報交換をさせていただいております。

市民図書館長

現役の小学校の理科の先生や、回数は多くありませんが県外の科学館の経験者をアドバイザーとして意見をいただき、良いものを作っていこうと思っています。

横田教育長

潮江の子ども科学図書館は2月に閉館いたしますが、そこで積み重ねてきたものは高知みらい科学館へ引き継いでいくこととなります。

西森委員

大人で理科が好きという人は本物だろうと思うのですが、大人でアマチュアでそういう方が関わられる場所はあるのでしょうか。子どもや先生方が関わる場所以外で、商業、経済系の方で理科が好きな人に知恵を借りれば面白いことが起きるのではと思うのですが、追々検討いただければ。

市民図書館新図書館建設室長

9ページをご覧ください。高知みらい科学館にはサポーター制度がありまして、ボランティアで科学館、展示館の案内をしていただこうと思っています。開館時は15名程度、将来的には30名程度の方で科学に関心がある方に様々な解説をしていただく予定です。また、(3)情報交換会がありまし

て、科学館関係者同志の交流の場を設けておりますが、アドバイザー、サポーター、クラブ会員、オフィシャルパートナー等いろいろ名称がありますが、会社、団体として組織されているものから加入される方はオフィシャルパートナーとなりますが、個人ですと、ボランティアのサポーターさんになると思います。今もアドバイザーの方とご相談している中で、いろいろな専門家がいらっしゃるということについてお話はたくさんお伺いしております。そういった方々とどのような繋がりを作っていく、どのようなことをお願いできるのか、一緒になって高めていくことができれば、そういう準備もしていきたいと考えております。開館当初はこういうスタイルですが、それぞれの方に合った活躍の場を考えていきたいと思っております。

横田教育長

また、そういった人材の発掘にお力添えをいただければと思います。

野並委員

プラネタリウムに関するのですが、今まで数々のプラネタリウムの閉鎖を見てきまして、どうして閉鎖になってしまったのか、10年もっても20年はもたないというか、渋谷にもありましたが建物だけ残って寂しい、悲しいイメージがあります。ぜひそのようにならないように、新たな企画をどんどんされて継続されますことをお祈りします。

森田委員

関連してですが、理科好きの子どもを育てる授業の学校利用のところですが、小中学校や保育園の利用について、電話にて先着順で受け付けるというよりは、実際にそこに働きかけた方が良いのではないかと思います。生活科から理科になっていくときに、暗記科目で理科が嫌いという子どもも多いと思うので、体験して面白いという経験値を小さい時に、と思います。学校利用の所の掘り起こしをしていただければと思います。

横田教育長

それでは、以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。これで、教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後4時15分

署名

教育長

5番委員
